

# 抱負を語る 病院統合再編く理事長予定者・副理事長予定者が

●お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-5704

9月3日に統合病院の理事長予定者の栗谷義樹氏（市立酒田病院長）と副理事長予定者の新澤陽英氏（県立日本海病院長）が、市立酒田病院と県立日本海病院の職員を前に、今後の病院運営等についての抱負を話されました。

栗谷理事長予定者からは「職員の皆さんは、職場環境や経営形態が変わることでの戸惑いがあると思うが、その解消をしていきたい。新澤先生と相談しながら、職員の交流を進め一体となって地域医療の提供に努めていく。この統合再編は全国の自治体病院がかたずをのんで注目している。私たちは自治体病院の新しい形態を模索するフロントランナー（先駆者）であ



る。この統合再編を成功させて、また、皆さんが自己実現を感じられるように両病院の職員が一緒に力を合わせて頑張りましょう」とあいさつがあり、また、新澤副理事長予定者からは「統合病院でも地域住民が満足のいく医療、そして高度医療が重要である。そのために医療スタッフの充実を図り、力を合わせてやっていく必要がある。新病院を良い病院にしていくことで、統合病院は、人がどんどん集るようなマグネット（磁石）病院になる。経営に留意しながら高度で質の高い、地域に密着した医療を展開して、全国にも名をとどろかす病院にしていきたい」とあいさつがありました。

同席した野村一芳山形県病院事業管理者からは、「新しい病院の経営・運営をしていただく両病院の職員の皆さんが一体感を持って、統合再編の理念である『安心・信頼・高度の医療提供』と『保健、医療、福祉の地域連携』の中核病院となる目標に向かってまい進されることを念願しています」との

話がありました。あいさつが終わって職員からは「働く環境が変わることは、不安もありますが、接遇の精神を今後でも忘れることなく、お互い力を合わせて患者さんのために頑張っていこうという思いを新たにしました」「救命救急センター開設に向けて早急な人員の確保をお願いします」等の意見、感想などが聞かれました。

今後、両病院では業務の調整、移行期間における体制整備、基本設計に向けての施設整備計画のとりまとめなど、平成20年4月1日の統合再編向けさまざまな点で調整を進めることとなります。

また、新病院で働く職員に対しては、随時、説明会や状況報告会を開催することになっています。

## 統合再編Q&A

**問** 新統合病院の施設整備が、平成20年度～22年度までと聞きますが、どのような計画になっていますか。また、その間ほどのような診療体制になるのでしょうか

**答** 現在、施設整備計画は、両病院、県・市の職員からなる統合再編協議会の施設部会等で検討しています。現在の日本海病院に増床する120床程度の病棟配置、診療科の移動に伴う外来診察室の増設、手術室・内視鏡室の増設、救命救急センターの設置等が計画されています。また、現市立酒田病院では、現在の東棟の改修等が予定されています。

市と県の9月議会に現日本海病院へ建設する施設の基本設計に関する補正予算を提案して、議決後に速やかに発注し、今年度中に基本設計を完成させたいと考えています。市立酒田病院の改修はそのスケジュールを勘案しながら進行することになっています。

建物がすべて完成するまで（移行期）には、両病院間で診療科が移動したり、建物建設や改修に伴い、現行の施設が一部使えなくなるため、相互で連携をしながら診療を行うこととなります。この移行期の診療体制については、調整がつき次第お知らせします。